コンサルタントの現場から

第136回

(株)ジェムコ日本経営　高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかという四方山話を綴ったものです。

日本の常識、世界の非常識

国によって異なる常識

以前、「郷いれば郷に従え」というタイトルでコラムを記載したことがあるが、各国で宗教も違えば文化も違う。育ってきた環境や親からの教えも違うので、その国によって常識が違ってくるのは当然だ。タイであれば仏教が生活の中で根付いている。しかも上座部仏教だ。日本の大乗仏教とは異なることも多い。当然のことであるが、日本の常識はタイでの常識からするとおかしいということも多い。以前、社長の声掛けでパーティーを開催したが、支払いの時になって社長が割り勘にすると言って、GMはいくら、マネージャーはいくら出せと言ったことで皆が驚いたという事例を紹介したが、この例のように「ここはタイなのに、日本の常識で判断しているのではないか」という事例に直面することは意外に多い。

ところで、日本の常識は世界の常識と言えるだろうか。クラクションを鳴らさないのが当たり前というのは日本だが、インドであればクラクションを鳴らして知らせるのが当たり前。また、副業一つにしても、日本では副業をはしてはならないという風潮があり、副業している人はほとんどないが、東南アジアの各国であれば、副業はいけないというような考え方をする人は少ない。実際、ベトナムでは学校の先生でも、学校が終わってから公文の先生をするとか、病院の医者も病院での勤務の後は個人で診察いうように副業をしている。タイでも副業している人は多い。休日には別の仕事をしている者もいる。それぞれの国で、このあたりの感覚は違うということだ。

常識を知らないことでの経営問題

ところで、経営という面では、日本の常識で判断していると大変なことになるということもある。最たる例は売掛金の回収だ。日本では、物を買ったらお金を期日までに支払うのは当たり前のことだ。しかし、金利の高い国であれば、少しでも支払いを先延ししようと考えるのが当たり前というところもある。支払いを遅らせれば金利分だけでも儲かるので当然のことだ。売掛金の未回収問題に苦しむ日系企業は意外に多い。このような国でビジネスをするのであれば、最初から売掛金を着実に回収する仕組みを入れることが必要であり、また回収に問題のない取引先かを事前に見極めする必要があるのだが、日本の常識でこのあたりを甘く見ていると未回収となり資金繰りが悪化という事態に陥ることもある。

また、不正も権利と思っている人が多い国もある。費用を上積みして上積み分を懐に入れたりする例ことはよくあることだ。不正の内容は広範囲に及ぶ。不正の事例をお聞きすると、そんなことまでという例や、よくそんな方法を考えたねと言いたくなるような例は多い。

以前、「不正への対策」という内容で、バンコク週報でもコラムを記載したが、タイでも不正はある。不正はないという前提の日本の常識で考えていると落とし穴にはまることも多いのだ。うちの会社は大丈夫と思っているだけで、単に気付いていないだけということもある。このような国では、最初から不正ができない仕組みを入れておかなければならないのだが、そのあたりへの対策が後手になっている企業も多い。

常識を理解して赴任する

新たに赴任する出向者は、その国の常識を理解しておく必要があるのだが、そのあたりの知識が乏しかったり、事前に勉強せずに出向している例は多い。また、前任者からの引き継ぎでは、業務についての引き継ぎはされても、その国の常識についての引き継ぎがされず、後になってトラブルを招いているという例も見受ける。やはり大切なのは、その国で仕事をさせていただく以上、その国の常識は事前に理解して赴任することが大切だ。

日本で、海外からの来訪者が常識外れの行動をしている例に接すると嫌な顔をする人は多いが、その国の常識を知らないと、現地の人達から見ればこれと同じことになっているということだ。

ところで、タイに赴任されている方々は、他国と比較すると在タイ期間が長い方が多い。まだ赴任して間もないという方は、どれだけタイの常識について理解できているか、長期滞在されている方やローカルの皆さんに確認してもらうとよいかもしれない。地域に根差した経営の推進には、その地域の文化や常識を理解することがスタートの第一歩ということだ。

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉
（たかはし こうきち）
㈱ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当

大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007 年執行役員、2011 年取締役、2015 年 6 月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」（日経 BP）他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI（国際公認経営コンサルティング協会）認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

企業情報、掲載します
新製品・サービスなど
企業情報を掲載させていただきます。
掲載ご希望の企業の方は下記までご連絡ください
バンコク週報 info@bangkokshuho.com

タイ市場で注目の日系企業100社を紹介するメディア
THAI GOOD COMPANY 100

タイで今、最も注目すべき日系企業100社。

急成長を遂げるタイ市場において、現地の文化に柔軟に溶け込みながら、積極果敢に事業を拡大し、タイそして日本市場を熱くする今、注目の日系企業をご紹介します。

WEBサイト、Facebookページにて加盟企業の詳細情報がご覧いただけます。
http://www.k-tsushin.jp/thai100/　タイ100　検索

掲載（審査申請）のお申込み・お問い合わせはこちら
URL http://www.e-bird.biz/thai100/　Mail thai@e-bird.biz

運営事務局　e-bird (Thailand) Co.,Ltd.
2 Jasmine Building, 12th Floor, Soi Prasanmitr (Sukhumvit23), Sukhumvit Rd., North Klongtoey, Wattana Bangkok 10110

THAI GOOD COMPANY 100

NICHIBAN
NICHIBAN (THAILAND) CO., LTD.

セロテープをはじめ、文具、
医療用テープ、産業用テープまで。

人々の健康で快適な暮らしに役立つ
製品を提供しております。

NICHIBAN (THAILAND) CO., LTD.
Tel: +66-2-238-1385~8　Fax: +66-2-238-1389
https://www.nichiban.com/th/